

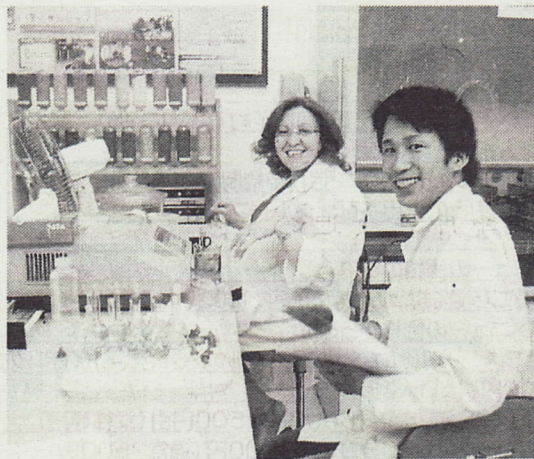
砂と暮らし 砂に学ぶ

ITP
だより

シリアは中東に位置しており、イスラム教徒が多く住む国です。現在、アメリカからテロ支援国家に指定されていることから、シリアに来る前は、テロや誘拐が頻繁に起こる危ない国という印象でした。

シリアってどんな国？

しかし、現地の人々と接するうちに、多くの思い違いに気づくことができました。治安は良好であり、都会では夜でも身の危険を感じ



シリアの国際乾燥地農業研究センター研究室で実験中の様子(右が筆者)

ることはありませぬ。人々は外国人にもとても親切です。例えば、バスの乗り場が分からず迷っていると、人々は親切に案内をしてくれる上、運転手に降車場所を知らせてくれます。一方で、時間

の感覚が異なることや親切が行き過ぎて、何時間もお茶飲みや話に付き合うこともありま

す。
シリアは、日本から遠く離れていて正しい情報が入手しにくいこともあり、偏った印象が先行しています。日本とは異なった文化を肌で感じることは、他文化への理解が深まるのはもちろんのこと、日本についても考えさせられるよい機会になっています。

(鳥取大学大学院農学研究科学生・佐藤敏雄)
(水曜日に掲載)

ITP(若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラム) 国際的に活躍できる若手研究者を育成することを目指し、日本学術振興会が支援する事業。